

# ティーチング・ポートフォリオ・ チャート作成ワークショップ

東京大学 大学総合教育研究センター  
栗田佳代子

東京大学 大学院総合文化研究科・教養学部  
附属教養教育高度化機構  
アクティブラーニング部門  
吉田 壘

はじめに

## 目次

1. はじめに
2. TPとTPチャート
3. TPチャートの作成
4. お知らせ・参考文献

\*TP：ティーチング・ポートフォリオ

## はじめに ~自己紹介~

### ・栗田 佳代子

- ・専門：高等教育、ファカルティ・ディベロップメント  
バックグラウンドは教育心理学、心理統計学
- ・東京大学フューチャーファカルティプログラム(東大FFP)
  - ・「教えることを学ぶ」実践的プログラム
  - ・ <http://www.utokyofd.com/>
- ・「インタラクティブ・ティーチング」
  - ・「教えることを学ぶ」オンライン講座
- ・メールアドレス
  - ・ [kurita@he.u-tokyo.ac.jp](mailto:kurita@he.u-tokyo.ac.jp)



## はじめに ~自己紹介~

### ・吉田 壘

- ・専門：教育工学、ファカルティ・ディベロップメント  
バックグラウンドは計算機科学、生体医工学
- ・駒場アクティブラーニングスタジオ（KALS）の運営
  - ・ KALS: アクティブラーニングを促進する教室
  - ・ 每期 10~15 コマの授業をサポート
- ・ KALS ワークショップの実施
- ・ より良い授業に関するご相談
- ・ メールアドレス
  - ・ yoshida@kals.c.u-tokyo.ac.jp



5

## 目的と到達目標

### 目的

TPチャートの作成を通して、日頃の活動の理念・信念を明らかにして、それらを軸に教育活動を俯瞰し、気づきを得る

### 到達目標

TPチャート作成により

1. 教育活動を俯瞰できる
2. 教育理念に自ら気づき書ける
3. 教育理念と方針・方法の結びつきを説明できる
4. 長期目標・短期目標を設定できる

6

## TPとTPチャート

7

## ティーチング・ポートフォリオ（TP）とは

- ・自らの教育活動について振り返り、その記述を根拠資料（エビデンス）によって裏付けた厳選された記録
- ・A4判で8ページから10ページほどの本文 + エビデンスから構成される文書

### ・作成の目的

- ・教育改善
- ・教育活動の可視化
  - 多角的な教育業績評価資料
  - 優れた取り組みの共有
  - 情報発信

8

## TPとは ～普及の現状～

- 欧米では教育業績評価資料として広く普及
- 日本では主として教育改善ツールとして普及途上
  - 中教審答申(2008)「学士課程教育の構築に向けて」
  - 日本では約30機関が導入済, およそ500名が作成



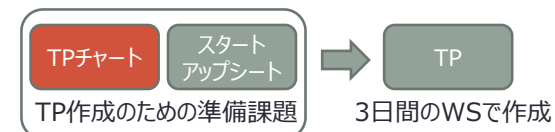
9

## TPチャートとは

- 教育活動の俯瞰と振り返りを行い、授業改善につなげることを目的としたA3判のワークシート
- もともとTP作成の体験ツールとして開発され、TP作成の事前準備としても利用される

### 特徴

- 個人の教育活動の視覚的整理
- 自己省察による俯瞰と構造化
- 短時間で作成が可能



10

## TPチャートの作成

11

## TPチャートの作成

- **ながれについて**
  - 普段の活動から背後の深い思考・姿勢にせまります
- **ふせんについて**
  - 一つのふせんに一つの事項を記入します
  - 黄：これまで・現在のこと
  - 青：これからのこと
  - ●：個人エピソード
- 基本的に黄色の大きなふせんを使います
- 異なる色, サイズのふせんを使う場合には適宜お知らせします
- シェアを行いますので丁寧な字でお願いします

12

専門 名前	作成 目的	感想	2 min
<p>理念</p> <p>目標</p>			
<p>・専門・お名前を直接記入してください</p> <p>・作成目的を直接記入してください</p> <p>例) 授業の改善, 気づきを得たい, 活動を整理したい</p>			
責任	方法		
	改善・努力	成果・評価	

13

<b>責任</b>		感想	5 min
<p>直近1年以内の教育活動をあげてください</p> <p>・授業科目 古文1年A組 生物2年理系</p> <p>・授業以外の活動 例) 進路指導 就職指導 剣道部顧問 入試問題作成 オープンキャンパス</p>			
責任	<p>6枚以上になりそうなら ふせん小</p>		
	改善・努力	成果・評価	

14

<b>改善・努力</b>		感想	2 min
<p>教育活動における改善および改善を目的とした活動をあげてください</p> <p>改善の記入例: 反転授業の導入 ルーブリックの導入</p> <p>努力の記入例: 授業改善の研究会に週1回参加 アクティブラーニングについての勉強会を主宰 授業力向上のためのオンライン講座を受講 TPチャートの作成</p>			
	<p>3枚以上になりそうなら ふせん小</p>		
	改善・努力	成果・評価	

15

<b>成果・評価</b>		感想	3 min
<p>教育活動によって得られた生徒の成果および生徒・第三者からの評価をあげてください。</p> <p>成果の記入例: 生徒の生物への興味が増した 試験の平均点が上昇した 生徒が自由研究で受賞した 部が大会で優勝した</p> <p>評価の記入例: 授業評価が高い 授業方法について講演を依頼された 授業研究会で高い評価を得た 優秀教員賞を受賞した</p>			
	<p>5枚以上になりそうなら ふせん小</p>		
	改善・努力	<p>目標</p>	

16

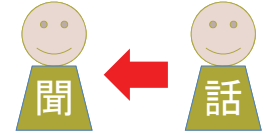
## シェア1 教育の責任と改善・評価成果

所属・専門についての自己紹介をしましょう。

手元のチャートをもとに、  
教育活動として行っていること、および改善・努力、成果・評価について相手に説明しましょう。

### <話し手>

- 教育活動をわかりやすく説明する
- 専門用語は極力使わない



### <聴き手>

- まずは興味を持って聴くことに徹する
- ポジティブなフィードバックをする

方法	感想	7 min
これまでの教育経験において いつも行っていること 重要視して用いていること 自分の教育を特徴づける方法 をあげてください。 <u>「考え」ではなく「行い」を書いて下さい</u>	目標	

方法	感想	7 min
例) 小テストを授業最初に毎回している 授業に関する新聞記事を見せる できるだけ早く名前を覚える 授業開始・終了時間を厳守している 授業にかぎらず相談にのる 教科書を使わない 多くの生徒に発言の機会をつくる グループ活動を多用している	目標	

<b>方針</b>	感想	7 min
<p>「方法」にあげたふせんをグループピングしながらそれらの方法を用いている理由を「方針」としてあげてください。</p> <p>「なぜこのようなことをしているのか」について考えてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ生徒にとってこの方法が大切なのか？</li> <li>・この方法を使って生徒にどう成長してほしいのか？</li> <li>・教えているものの何を学んでほしいのか？</li> </ul> <p>といった観点から考えてみるとよいでしょう。</p>	目標	
	方針	
		21

<b>方針</b>	感想	7 min
<p>例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「小テストの実施」という方法に対して「基礎知識を確実に身につける」という方針</li> <li>・「できるだけ早く名前を覚える」という方法に対して「信頼関係を築く」という方針</li> <li>・「授業開始・終了時間を厳守している」という方法に対して「教員が自らルールを守る」という方針</li> <li>・「多くの生徒に発言の機会をつくる」と「グループ活動を多用している」という方法に対して「仲間と活動することで学びが深まることを実感させたい」という方針</li> </ul>	目標	
	方針	
		22

<b>方針</b>	感想	7 min
	理念	目標
	方針	
		23

<b>方針</b>	感想	7 min
<p>グループは線で囲みましょう。</p> <p>グループはいくつになってもかまいませんが2つ以上みつけてください。</p> <p>事項が一つしかないグループ、あるいは複数のグループにまたがる「方法」があってもよいです。</p>	理念	目標
	方針	
		24

**理念** 感想 7 min

理念 目標

方針

「理念」に「方針」であげた事項をグルーピングしながら、その方針を用いている理由をあげてください。

25

**理念** 感想 7 min

理念 目標

方針

26

**理念** 感想 2 min

目標

「理念」について、理念を持つに至った個人的なエピソードがあれば**びんごのふせん**にあげてください。  
 例) 影響を受けた人物  
 影響を受けたできごと

27

**対応づけの確認** 感想 5 min

目標

「理念」「方針」「方法」が対応づいているかどうかについて確認をしてください。

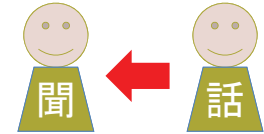
28

## シェア2 教育理念と方針・方法

手元のチャートをもとに、「教育理念」および「理念を具現化している方針・方法」とともに、相手に説明しましょう。

### <話し手>

- 理念と方針・方法の対応付けを説明する
- 専門用語は極力使わない



### <聴き手>

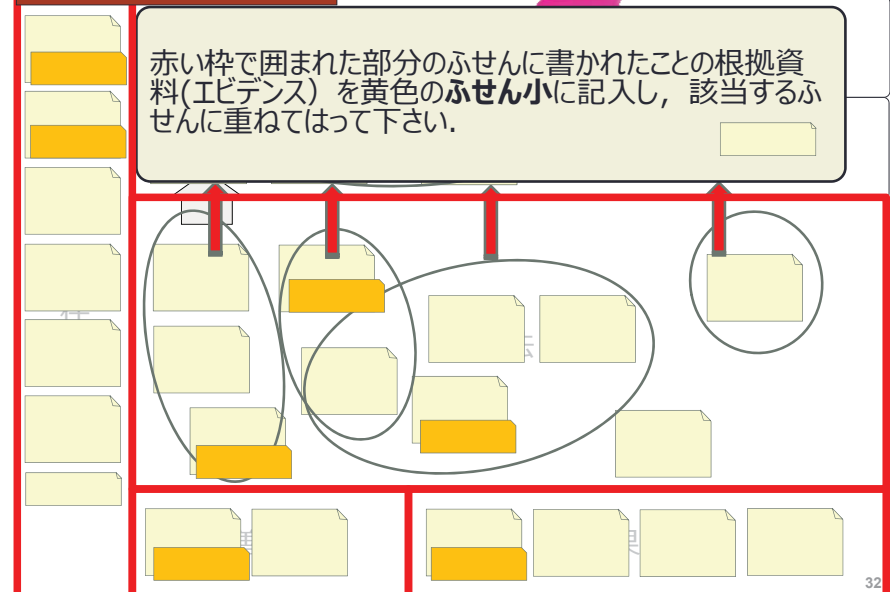
- まずは聴くことに徹する
- ポジティブなフィードバックをする
- 理念については、「繰り返し」、「言い換え」あるいは「さらなる問いかけ」

対話のなかで、新しく考えたこと、整理し直したことを反映させてください。

## エビデンス

感想

赤い枠で囲まれた部分のふせんに書かれたことの根拠資料(エビデンス)を黄色のふせん小に記入し、該当するふせんに重ねてはって下さい。





エビデンス		感想	3 min
エビデンスの記入例 責任： 時間割 任命書 シラバス 改善・努力： 勉強会のチラシ 研修の参加証 資格取得証 成果・評価： 優秀なレポート例 授業評価の結果 同僚からのフィードバックコメント 生徒の進路データ 方法： 配布資料の現物 テスト問題 グループワークの課題資料 授業ノート 授業の様子の写真		目標	

## シェア3 エビデンス

ふせん小をつけられなかったふせんのエビデンスを互いに考えましょう。考えたエビデンスは青のふせん小に挙げ、該当するふせんに重ねてはりましょう。

エビデンス		感想	3 minずつ
		目標	

目標		感想	2 min
短期目標として「方法」「改善・努力」「成果・評価」に書き出して見ましょう。できる・できないが明確にわかるよう具体的に書きましょう。  (目標の具体例) 方法： ルーブリックをとり入れる ポスター発表をとり入れる 授業案をつくり、毎授業後に改善する 改善・努力： クラス運営についての研修に参加する 教科教育に関する研究集会に参加する 成果・評価： 授業内容への興味・関心度を高める 模試の学校平均を○点に上げる 教育実践について学会で発表する 生徒の研究を○○へ応募する		目標	

**目標** 感想 2 min

全体を見渡し、今後達成したいと考える教育に関する目標を考え「目標」のところに書き出しましょう。  
その目標に向けた短期目標が設定出来る場合にはそれも具体的に書きましょう。

例：「単なる受験対策ではない生きる力として必要なことを教える授業をつくりたい」

このための短期目標

- ・国内外の理想の実践を探す
- ・学内外で仲間を見つける
- ・正規授業とは別にやってみる

37

3 minずつ

**感想** 感想 2 min

TPチャート作成をふりかえり、感想を記入してください。

38

4 minずつ

## シェア4 目標

手元のチャートをもとに、ご自身の理念をまえおきにしつつ、短期目標および長期目標を中心に説明してください。

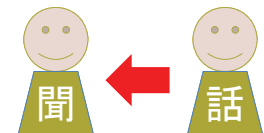
あわせてTPチャートを作成してみた感想をシェアしてください。

### <話し手>

- ・目標を決意表明として相手に説明する
- ・TPチャートを作成した感想を伝える

### <聴き手>

- ・まずは聴くことに徹する
- ・目標なので特に否定しないこと



## 終了です いかがでしたか？



教育活動が整理できましたか？  
どんな気づきがありましたか？  
メンターの疑似体験もしました  
(作成支援者)

41

## 参考文献

- ・ 大学評価・学位授与機構監訳・栗田佳代子訳 ピーター・セルディン著(2007)『大学教育を変える教育業績記録』 玉川大学出版部 (Peter Seldin (2004) The Teaching Portfolio: A practical guide to improved performance and promotion/tenure decisions 3rd ed. Anker Publishing Company, Inc.)
- ・ 大学評価・学位授与機構監訳, 栗田佳代子訳, ピーター・セルディン著 (2007)『大学教育を変える教育業績記録』, 玉川大学出版, 388ページ (Peter Seldin (2004) The Teaching Portfolio: A practical guide to improved performance and promotion/tenure decisions 3rd ed. Anker Publishing Company, Inc.)
- ・ 大学評価・学位授与機構監訳, 栗田佳代子訳, ピーター・セルディン, エリザベス・ミラー著(2009)『アカデミック・ポートフォリオ』玉川大学出版部 364ページ (Peter Seldin and J. Elizabeth Miller (2008) The Academic Portfolio: A Practical Guide to Documenting Teaching, Research, and Service, Jossey-Bass Higher and Adult Education)
- ・ Kurita, K. (2013) Structured strategy for implementation of the teaching portfolio concept in Japan, International Journal for Academic Development, International Journal for Academic Development, 18(1), 74-88 (DOI :10.1080/1360144X.2011.625622)
- ・ 栗田佳代子(編) (2014) 「ティーチング・ポートフォリオの定着・普及に向けた取り組み—効果検証・質保証・広がり」 大学評価・学位授与機構
- ・ 栗田佳代子(編) (2012) 「ティーチング・ポートフォリオの導入と次のステップ — 導入とその先の課題, および更新ワークショップの提案 —」 大学評価・学位授与機構
- ・ 栗田佳代子, 加藤由香里, 井上史子, 尾澤重知, 北野健一, 城間祥子, 皆本晃弥 (2010) ティーチング・ポートフォリオ: 導入の意義と可能性, 大学教育学会誌, 32(2), 55-59
- ・ 国立高等専門学校機構「モデルコアカリキュラム (試案)」  
<http://www.kosen-k.go.jp/news/news20120419.html>
- ・ 大阪府立大学高専ティーチング・ポートフォリオ研究会 (編) 『実践 ティーチング・ポートフォリオ スターターブック』, NTS出版
- ・ Yoshida, L., & Kurita, K. (2016). Evaluation of Structured Academic Portfolio Chart and Workshop for Reflection on Academic Work. Procedia Computer Science, 96, 1454-1462.
- ・ 吉田壘, 栗田佳代子 (2016) ポートフォリオ作成を支援するメンタリングチェックシートの開発と応用, 大学教育学会誌, 38(1), 172-180
- ・ 吉田壘, 栗田佳代子 (2015) 大学院生版アカデミック・ポートフォリオの開発, 日本教育工学会論文誌, 39(1), 1-11

43

## TPチャート作成WSのお知らせ

日時 : 2017年12月17日 (日)

13:00-15:30 1 TPチャート作成

15:30-15:45 休憩

15:45-16:45 2 理念と方法の再検討 (TPチャートを深める)

16:45-17:00 3 皆さんがTPチャート作成WSを行う方法

17:00-18:00 4 交流

場所 : 東京大学本郷キャンパス 工学部2号館9階92B

対象 : 教員 (小中高大どなたでも)

定員 : 60名 (先着順)

〆切 : 12月13日 23:59

目的 : TPチャートの作成を通して教育活動をふりかえる

TPチャートの作成を通して作成の意義や可能性について考察する

申込方法 : <http://www.teaching-portfolio-net.jp/>

のイベント・ワークショップ情報から申し込みフォームへ

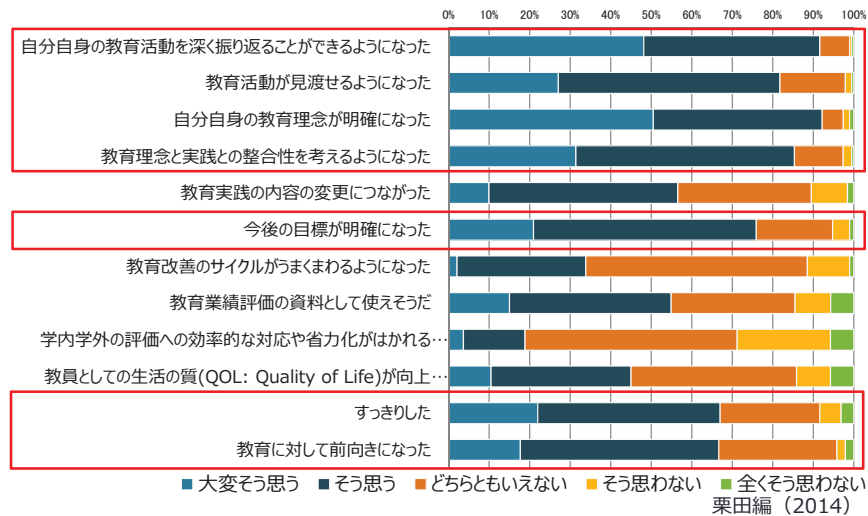
42

おつかれさまでした

44

# 補足資料

## TPとは ~作成の感想~



## TP WS

